

大本大阪本苑だより

発行所
〒557-0012
大阪市西成区聖天下1丁目3-14
大本大阪本苑
☎ (06) 6651-5670
Fax (06) 6651-6611

早期終息を願い一斉祈願 大阪本苑4月月次祭執行

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出された中、4月の月次祭は、4月12日午前10時、齋主高瀬健二総務担当参事のもと、厳粛に執行された。新型コロナウイルスの感染拡大防止策のため、参事・祭務部のみ規模を縮小しての執行となった。

祭典は、祓式行事、齋主「月次祭祝詞・誕生祭祝詞」を奏上。玉串捧奠は、齋主、宣伝使代表、本苑長、各代表、参拝者代表が捧げた。齋主先達、神言奏上、讚美



祭主月次祭祝詞奏上



木の花桜の前で玉串捧奠



乙姫様祝詞奏上

歌斉唱。続いて、乙姫様の月次祭を執行。月次祭祝詞奏上、天津祝詞。祭員退殿。更に新型コロナウイルス早期終息祈願の一斉祈願が11時より執行。本苑信徒には揺拝形式で参加、神言三回の祈願を願った。祭典は、新型コロナウイルス早期祈願祝詞・神言3回奏上し一日も早い終息を祈念した。又、本苑だより4月号記載を参考に朝夕の礼拝時にも、早期終息の祈願を促した。

新型コロナウイルスの影響で延期されていた春季慰霊大祭が4月26日(日)午後1時より小佐々明夫次長を齋主に行われた。祭員入場、祓式行事、先に大神様へ春季慰霊祭奏上祝詞・新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞・天津祝詞奏上後、特設祭壇に移動、天の数歌・招魂により祭壇に設けられた神籬に大阪に神縁のある神霊達を招魂、引き続き春季慰霊大祭祝詞・玉串捧呈・神言・讚美歌と粛々と進み、先人の遺徳を忍び感謝と敬虔な祈りのもとに清々しく祭典を終了した。

本苑長挨拶では、新型コロナウイルスの影響で縮小しての祭典が続いています。毎月の月次祭で仲間と楽しく集えることは、当たり前ではなく、とてもありがたいことであり、普通こそ幸せなことだと

大阪本苑春季慰霊大祭を執行



満開の木の花桜



新型コロナウイルス終息一斉祈願



大阪本苑のナンジャモンジャ



祭主春季慰霊大祭祝詞奏上

暗闇の先の見えない世の中も
祝詞の声に全く晴れゆく

痛感しています。今、私たち大本信徒として出来ることは、コロナウイルスで亡くなられた方を含め大三災小三災での犠牲者を丁寧にお祀りさせていただき、霊界での幸福を祈らせていただくことだと思います。それが早期終息にも繋がると思っています。合わせて各自が日々ご神書を拝読させていただき信仰的免疫力をつけ、この難関を乗り越えていきましょう。

本日の祭典は、ユーチューブで配信いたしました。5、6月の月次祭も配信いたしますので、視聴可能な方は、ご覧になりながら遥拝して頂きますようお願いいたしますと述べた。

「眩き」言わされて・させられて」

大本大阪本苑相談役

松本 達也

恒例により私の信仰のルーツから述べます。昭和19年だと思えます。当時、母は台湾の飛行場に軍属として、勤務していました。ある日、上司でもある中尉さんが夢枕に立ち「松本、今日は子供たちを皆連れて出勤しなさい」とのこと、素直に夢に從つて、兄二人（小学生）私（2才）を連れて出勤しました。この頃の台湾は、時折、米中合同軍の空襲があり危険な状況だったそうです。

その後、誰もいない我が家は爆弾で焼失しました。正夢を信じていなかったら私たち兄弟3人はこの世にいないことになり。また戦闘機からの機銃掃射を受け身近に着弾する経験もあったそうで九死に一生を得ていると幾度も聞かされてきました。敗戦により九州に引き上げた昭和23年、当時大本宣教で廻っておられた熊本の砂泊宣伝使の話を聞き、家族全員入信しました。

一、【大阪本苑造営にまつわる記憶】

本苑造営のきっかけは平成3年12月の分所長会議で、東大阪分所長をされていた三谷先生から「そろそろ本苑を立て替える時期ではないか」との発言からだった。続いて高槻分所長の中井先生が「高槻に自分の土地があるから、使ったらどうか」と、建設的な意見が出たりして、造営の機運が高まってきた。当時は長生殿完成が目前でもあり、地方機関での「神の家」第一号の思いも強かった。

岡村本苑長から引き継いだ矢野栄一本苑長は造営局長として、積極的に取り組み、建設規模や予算など種々の取決めをし、早々に献金をお願いに着手した。信徒の皆さんの熱意が申し込み総額約2億8千万円という結果に表れたのでした。なお、建築着手までの1年間で、約1億円の献金が寄せ

られ、このお陰で着手金など当初の経費を借りなくて済んだのでした。

建築中の本苑は、木の花分所の末延さんのお世話で借りていた野沢ビルに平成6年8月7日遷座祭を執行しました。これに先立ち7月28日、乙姫様ご神体はお軸からお宮に鎮座されています。8月8日解体工事開始、平成6年9月4日には早くも地鎮祭が執行され、植村本部長はじめ約50人の方が参拝されている。因みにこの日は関西空港が開港した日でもありました。

平成7年1月17日午前5時46分マグチュード7の阪神淡路大震災が勃発しました。大本本部の要請で、金庫にあった32万円を持って救済物資を買い集め、秋山さん、油谷さんと3人で19日に西宮市役所に届けました。その後も、神戸市などに救済物資を届けるなど、悲しい出来事でした。建設中の本苑は前年の暮れに1階部分を、1月に入り2階部分を生コン打設していたが、被害はありませんでした。

そして平成7年7月9日完成奉告祭が執行されました。四代教主様は矢野栄一本苑長と680名の参拝者に「ミニミニ長生殿やな〜」「おめでと〜」とお祝いのお言葉をいただき、感激したものです。

その① 今の本苑の「つくばい」の石は長生殿に使う予定だったそうですが、小さすぎるので、それでは亀岡春陽閣に思ったが大きすぎて、結局、石屋さんに預けてありました。加工前の原石に「大阪にお嫁においで」と声掛けしたのを覚えています。

その② お宮と神前の建具類・大広間の衝立は長生殿の検材です。

お御簾の金具も長生殿用にと特別に誂えたものを使用しています。

二、【平成15年7月別館（眩ぎの家）が約1億3千万円で購入されました】
かねてより、四代様と教主さまが、この隣地の購入をご祈念いただいていたので、持

ち主の岡本様からこの話が持ち込まれたとき、秋山本苑長のもと総代の富田・桑原両先生方の承認のもと二も二もなく購入が決定した。資金は本苑造営献金の余剰金5千万円と、手持ちのお金を全て注ぎ、これも借金なしで購入出来ました。この余剰金がなかったら、今の別館には10軒ほどの住宅が建っていたでしょう。この時も、大神様の仕組みを強く感じました。その意味において、教主さまご命名の、まさに「眩ぎの家」と言えるでしょう。

三、【木の花桜】のごとく】

教主さまに「木の花桜」の御下付をお願い出て、平成17年春先、花明山植物園に苗木を見に行きました。温室の裏に小さな植木鉢に親指の太さで、背丈130センチ程度でした。この時も、つくばいの石と同じように、「大阪においで」と誘いました。ただ、地質上問題ありということで、岩崎先生や津軽先生の指導の下、有志で土壌改良に汗を流したものです。

11月教主さまのお手植えにより、立派に成長し、1輪に幾十の花びらが隙間なく咲き誇った姿はお見事です。

平成23年3月11日午後2時46分マグニチュード9の東日本大震災が勃発しました。未だ復興半ばですが、全ての皆様にエールをお送りいたします。

四、【お作品展開催】

平成24年3月30日から4月4日までツイン21MIDタワーで歴代教主・教主補様のお作品展を開催しました。

作品展の会場探しに奔走しました。連日のように伊藤本苑長と下見に行きやと落ちていたのが、この会場でした。この作品展の特徴はお作品の殆どが、大阪の信者さんが所蔵されているものであり、多量の耀盃の作品展も地方としては異例のことでした。

皆さんの家庭には眠っているお作品がたくさんあります。大切に保管して、子孫に引き継いでくださる事をお願い致します。

五、【なには別院】69の「なには」の家】

昭和39年2月20日に開設され、三代教主様の大阪におけるご活動の拠点であり宣教の足場として開設されたのはご承知の通りです。

※更にこの前身は大正3年2月19日、宣教の最前線でもある全国初の本部直属「難波出張所」が開設され聖師様が自ら斎主となり、鎮座されました。

長年月の間には、ご神体は法難に遭いながらも、お道の先輩によりお守りされました。昭和47年から3年以上にわたる、欧米を巡る海外展もありました。大阪本苑は長きにわたってお守りしてきましたが、残念ながら、この建物も老朽化が進み、本部の意向にてご神体は梅松館にお帰りになることになり、平成25年1月19日夜7時から遷座祭が執行されました。

本苑長一人で参拝するようと呼ばれました。この時の直会の席は梅松館のご神前の二間を使って、教主さまお手作りの御馳走が盛りだくさん並べられ、大変おいしかったです。教主さまとテーブルをはさんだ真向かいの席を進められて緊張する中で、賜りました教主さまのお言葉は以下の通りです。「大阪の皆様には長い間、「なには」の家」の神様をお守りいただきありがとうございます。このお家は大阪の方たちが大勢「梅松館」にお参りくださるとうれいですが、「歌祭り」がしばらく途絶えそうですね。」と少し寂しそうにおっしゃいました。私はつい「うっかり」「大阪も「歌祭り」をさせて頂きたいと思っています!!」と。

守護神が言っていました。その時の素直な発言とはいえ、えらい事をお約束してしまつた。お金もかかるし、でもこうなつたら何か節目の吉祥を探さなければと必死になりました。

六、【なにはづ大本歌祭り】

大本の年表を繰っていると、「聖師様による難波出張所開設100周年」の節目がありました。神縁とは計り知れないもので

、その時の住吉大社の真弓宮司が御津ノ浜分所の御井和子先生の患者さんで、紹介していただき伊藤本苑長とご挨拶にお伺いしました。お話の中で、昭和25年3月26日、二代様、三代様ご臨席のもと戦後初の「大本歌祭り」が住吉大社で行なわれていた歴史をご存じでした。住吉大社の日誌には当時の様子が詳しく掲載されています。

このように過去の出来事を振り返ってみると、神様が道を開いてくださっていて神と人・人と人の縁を思うとき「全て言わされている。させられている」と実感します。それに対して私たちは、「素直に・積極的に」が求められているのではないのでしょうか。この後、奈良主会（橿原神宮）からはりま本苑（高砂神社）へと続き、神慮の深さを感じたものでした。

七、【松エス語】

平成25年、旭分所の川部さんから、紀の川市の山林の献納の話が始まります。色々な手続きを経て、平成28年4月から5月にかけて、大掛かりな山の整地を行った。荒廃が進んでいた元みかん山は述べ50名の本苑の皆さんの手で切り開き、22日「清祓式及び植樹祭」を執行し、100本の苗を植樹しました。その後更に150本植えて、今では幹は腕位の太さに成長し、順次収穫しています。定期的に草刈りなどしますが、肉体労働も気持ちの良いものです。更に玉川分所の柴田さんからも滋賀県甲南市の土地を献納いただきました。今年の春先、松苗を60本植樹しています。貝塚分所の竹田さんからも植樹にと所有地をお借りしています。又、ある方からは松山のごとに使用してほしいと多額の献金も頂戴しています。神様に献ずる「松」を育てる皆様の熱意を強く感じ心より感謝申し上げます。これからの事業を若い世代が継承されることを願ってやみません。

以上、拙い私の「つぶやき」にお付き合い合いたいただき、有難う御座いました。大本の機関は全国に59あります。

中でも大阪は「さきがけ」のご用の要にいて、皆様は一騎当千の神兵として活躍しなければならぬ立場に立っています。教主さまのもと、綾の聖地、長生殿前の用地買収のご用も精一杯お役に立とうではありませんか。!!

新型コロナウイルスなる厄介な病気が蔓延していますが、皆様お気を付けてください。

神の啓示 エスペラント

増井 さえ子

Saluton!

新型コロナウイルスで本苑、分所に集えることができないのは当たり前ではなく、とてもありがたいこと、普通こそ幸せなことだと心から思います。エス語クラスも中止のため、みんながエス語を忘れないかと心配です(笑)

さて、エス語がポーランドのザメンホフ博士によって作られた言葉だということは、エス語に触れた方ならご存じだと思いますが、今回はエス語と霊界の関係についてお知らせしたいと思います。

ブラジルに長く出向されていた本部の前田茂樹先生が、大本のエス語誌「NOVA VOJO」に書かれたことです。ブラジルには昔から心靈主義者が世界各地から多く集まり、その分野は国で認められていて、信頼も厚く沢山の書籍も出版されているそうです。その中の一つ「神の啓示、エスペラント」の著者は、20世紀最大のスピリティスト（交霊術師）として知られるシコシャビエルです。実はこの本は「ブラジルのエス語運動の父」といわれる、ロレンズの精霊が霊媒、シコシャビエルを通して著したものです。ロレンズは、チエゴで生まれザメンホフ博士と文通友達だった19歳の時ブラジルに移住し、エスペラントリスト、スピリティストとして活躍し85歳で他界しました。その2年後、シコシャビエルを通じて「神の啓示、エスペラント」と題する霊

界通信を送ってくるようになり、その中に次のようなメッセージがあります。「私が霊界に帰り知った事実をお伝えします。それは、ザメンホフ博士が地上でエス語を創造する以前に、霊界において半世紀を費やしてザメンホフ博士の精霊を中心に幾人かの精霊が補助して完成させていたという事実であります。その後、博士は地上に降誕することになったわけですね。」

つまりエス語はザメンホフ博士が生まれる前に、霊界において半世紀、50年を費やしてすでに研究、創造されていたというのです。またロレンズは「エス語は大切な言葉で、霊界の精霊と人間を結びのになくしてはならない言語です」とも伝えていています。

このことはザメンホフ博士が語学の天才として生を受け、若くして国際語創造という偉業を成し得たこと、日出磨尊師さまの「エスペラントは神の言葉」という絶対的表現にうなずけます。

聖師様は「大本は型を出すところだがこの言葉、エス語は型だけでなく真剣にやっていたきたい」と言われています。

エス語の中立性、内包する人類主義のすばらしさだけでなく、神さまの御心のもと霊界で創られ、死後もまた霊界が必要と驚きです！そして、そんな大切な言葉を学んでいることをありがたく、幸せに思います。こんな宝物のようなエス語を一人でも多くの人に知って欲しいと思います。一緒に勉強しませんか？挨拶、簡単な自己紹介ができるだけでも楽しいです！

「入門クラス」は土曜日の午後6時半開始なので、働いている人、学生の方も



参加可能です。幸い2回目が始まったばかりなので、いつ参加されても大丈夫です。昼間の「初級クラス」も、和やかな、とても楽しいクラスで初めての方にも別枠で対応しています。いろいろな国のエス語話者との交流もあり、共通語エスペラントを実感できます。コロナが収束し、クラス再開の時は新しい仲間と会えるのを楽しみにしています。

なにはば短歌会開催報告

4月の短歌会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、前月に続きお休みで詠草を提出し浅田弘子先生に添削していただきました。

(出詠者12名・詠草24首)
短歌会は毎月本苑月次祭前日(土)午後1時より開催しています。多くの方の参加をお待ちしています。

【4月の詠草より】(敬称略)
無観客の相撲中継に頭うつ
鈍き音聞こへ身の固くなる
増井 さえ子
終息の見えぬコロナに夕焼けは
こともなく空染めて明るし
高岡 千鶴

●大阪本苑春季大祭

乙姫様月次祭について

6月14日(日)午前10時に大神様春季大祭並びに、乙姫様の月次祭を役員のみで執行させていただきます。

参拝はご遠慮いただき、ご自宅でご参拝していただきますようお願い申し上げます。

祭典終了後に引き続き(午前11時から)、当日の参拝者一同で新型コロナウイルス終息祈願を行いますので、信徒の皆様には同時刻に各家庭で「斉祈願(神言3回の奏上)」をしていただきますようお願いいたします。

●5月 行事予定

| | | |
|---|--------------|-------------------|
| 10日(日) | 本苑月次祭・乙姫様月次祭 | 選擇 AM 10:00 |
| 規模縮小【各家庭にて選擇】ライブ配信予定 | | |
| 新型コロナウイルス終息一斉祈願 | | AM 11:00 |
| 12日(火) | 祭服クリーニング | 【中止】 AM 10:00 |
| | 直心会習字 | 【中止】 PM 1:00 |
| | エス語講習会(初級) | 【中止】 PM 2:00 |
| 13日(水) | お茶 | 【中止】 AM 10:00 |
| 14日(木) | 霊界物語拝読会 | 【中止】 AM 10:00 |
| 16日(土) | 常設講座 | 【中止】 |
| 17日(日) | 分所支部月次祭 | |
| 各家庭の月次祭もご一緒に合わせていただいても結構です その際の分所のお玉串は後日、各分所にお持ちください | | |
| 20日(水) | 生きがい公開講座 | 【延期】 PM 6:30 |
| 22日(日) | エス語同好会 | 【中止】 PM 2:00 |
| | 宣教部会 | 【オンライン会議】 PM 7:30 |
| 23日(土) | 祭式講習会 | 【中止】 AM 9:00 |
| | 常設講座 | 【中止】 |
| 24日(日) | 祭式講習会 | 【中止】 AM 9:00 |
| | 葬祭講習会 | 【中止】 AM 9:00 |
| 25日(月) | お茶 | 【中止】 AM 10:00 |
| 27日(水) | お茶 | 【中止】 AM 10:00 |
| 28日(木) | クリーン活動 | 【中止】 AM 10:00 |
| | 乙姫様月次祭 | 【中止】 PM 1:00 |
| 29日(金) | 参事会 | 【開催】 PM 7:00 |

●6月 行事予定

| | | |
|-----------------------------|---------------|---------------|
| 5日(金) | 運営委員会 | 【中止】 PM 7:00 |
| 6日(土) | 常設講座 | 【中止】 |
| 9日(火) | エス語講習会(初級) | 【中止】 PM 2:00 |
| 10日(水) | お茶 | 【中止】 AM 10:00 |
| | 誠心会幹事会 | 【中止】 PM 1:30 |
| | エス語入門講座 | 【中止】 PM 6:30 |
| 13日(土) | 短歌会 | 【中止】 PM 1:00 |
| 14日(日) | 本苑春季大祭・乙姫様月次祭 | 選擇 AM 10:00 |
| 規模縮小【各家庭にて選擇】ライブ配信予定 | | |
| 新型コロナウイルス終息一斉祈願 | | AM 11:00 |

神饌物献納御礼

4月祭典(本苑・乙姫様)には下記の方々より神饌物を献納頂きました。厚く御礼申し上げます。

- 杉谷 直樹 様 (天満) ○久井 照子 様 (鶴橋)

●インターネット配信のお知らせ

5 月月次祭より、YouTube を活用し同時刻から動画配信を致します。

つきましては視聴可能な方は、ご自宅のパソコンやスマートフォンから、YouTube で『人類愛善会大阪』を検索していただき、ご覧になりながら選擇していただきますようお願い申し上げます。

また、今後も令和の生きがい講座等アップしていきますので、チャンネル登録をしてご活用ください。

<https://www.youtube.com>

[/channel/UC3gLO9163en65KCyzxFLYwQ](https://www.youtube.com/channel/UC3gLO9163en65KCyzxFLYwQ)

人類愛善会大阪

検索

●参典・行事の開催状況については、

「大本誌」「大本ホームページ」をご参照下さい。

<https://www.oomoto.or.jp/wp/>

大本

検索

選擇祭の手引き

各種祭典

- 手、口、笏を清める。お灯りをつける。玉串袋の右上に祭典名を書き、切り火をして三宝にのせて大神様にお供えする。
- 祭典時間に合わせて選擇祭祝詞があれば奏上。神言1回奏上、御神号奉唱。できれば讚美歌斉唱。

一斉祈願

- 各種祭典の選擇と同様に準備する。
- 時間に合わせて祈願祝詞があれば奏上。神言3回奏上、御神号奉唱。

- いずれの場合も神饌物は、無くても可、あれば尚良し。
- お供えした玉串料は、後日振り込みか持参して下さい。
- 各家庭の月次祭に合わせていただいても結構です。

コロナウイルス感染拡大に伴い、本苑への参拝を自粛していただいております。大変ご不自由をお掛けしており申し訳ございませんが、選擇時に神さまへの感謝の玉串をお供えしていただき、後日、本苑にお届けいただくか下記口座に振り込みいただきますようご理解、ご協力お願い申し上げます。

【振り込み先】 ゆうちょ銀行
大阪本苑 00940-6-31455

●み手代お取次

- 5月月次祭 (中止)
- 6月春季大祭 (中止)
- 7月月次祭 西野 春光 宣伝使
- 29日 四代様毎年祭選擇祭(規模縮小)
- 26日 春季慰霊大祭(規模縮小) 本苑参事会
- 19日 分所支部月次祭
- 17日 本苑宣教部会
- 12日 本苑月次祭(規模縮小)
- 乙姫様月次祭(規模縮小)
- 新型コロナウイルス終息一斉祈願

本苑日誌(4月)